

東日本大震災 広島中央保健生協支援対策ニュース

NO. 4 2011. 3. 16 13:30 発 広島中央保健生協対策本部

3月16日朝の第4回対策会議の報告

原発事故含め現地の状況や全日本民医連、医療福祉生協連からの支援状況など情報を共有しました。

1. 医療支援を希望する職員は職場長へ

- 職場長を通じて出された支援希望を管理部は対策本部（盛谷専務、大野常務）へメールでお伝えください。
- 3月16日午前の時点で医療支援希望者は13名です。
福島生協病院：医師2名、理学療法士1名、看護師5名
生協さえき病院：医師1名、看護師1名、地域包括支援センター：1名、総務部1名、本部：1名

2. 生活物資などを17日(木)発送します。総務へ送ってください。

- 全日本民医連を通じて生活物資を送ります。
- 明日17日(木)午前中までに総務部へ、ご家庭にある毛布、寝袋、カッパ、カイロ、アルミシート、男女衣類、男女肌着・靴下、子どもの衣類、カセットコンロ・ガスボンベ、鍋、台所用品、懐中電灯、ラジオ、バスタオル、水用ポリタンク、ブルーシートなど提供可能な物資の数量をお知らせください。
 - 福島生協病院からレスキュー用のおかゆやスープ、水などを送ります。
 - クリニックや生協歯科からは、カッパやカイロ、粉ミルクなどが提供可能です。
 - 支援物資を運ぶレンタカー等を手配中です。

3. カンパ袋が回ってます！（職員一人1日分の給与を目安）

- 各職場は取りまとめて事業所管理部の震災担当者へ、各事業所は毎週火曜日に総務へ集めたカンパを持参下さい。

<さっそく義援金が寄せられました！>

組合員から34,146円、本部から60,000円が寄せられました。

対策本部事務局

- 上記の医療支援の希望状況を見ながら、支援物資を集める作業をすすめ、医療支援および支援物資を運ぶ準備を進めます。

以上